

付録 1 1 対称な呼の運用に関する拡張

本手順は、未提供です。

1. 付加メッセージハンドリング

対称性の適性において、「呼設定」メッセージは、呼に使用される特定Bチャンネルを通知するチャンネル識別子メッセージを含みます。ポイント・ポイントデータリンクが「呼設定」メッセージを転送するために使用します。

ユーザ側に関しては、5章に記述されている手順に原則として従って下さい。付加手順が要求される場合の詳細を以下に示します。

1. 1 Bチャンネル選択—対称インタフェース

同じDチャンネルによって制御されるBチャンネルだけが選択手順の対象となります。選択手順は以下のとおりです。

- (1) 「呼設定」メッセージは以下の項目のうち1つを表示します。
 - (a) 他チャンネルへの変更不可
 - (b) 他チャンネルへの変更可
- (2) (a)及び(b)の場合、もし、表示されたチャンネルが受付可かつ利用可であるならば、「呼設定」メッセージの受信側は指定されたチャンネルをその呼のために予約します。
(b)の場合、もし「呼設定」メッセージの受信側が通知されたチャンネルを容認できないなら、Dチャンネルに関連する他の利用可能なBチャンネルを保留します。
- (3) もし「呼設定」メッセージが、呼の確立のために必要な全ての情報を含むなら、「呼設定」メッセージの受信側がインタフェースを通して転送される「呼設定受付」メッセージに選択されたBチャンネルを示します。そして‘着呼受付’状態に遷移します。
- (4) もし「呼設定」メッセージが呼の確立のために必要な全ての情報を含んでいなければBチャンネルは、インタフェースを通して送られた「呼設定確認」メッセージに示されます。さらに、呼確立情報は、もしあるならば、「呼設定」メッセージと同方向にインタフェースを通して転送される1つ、もしくはそれ以上の「付加情報」メッセージで送られます。
全ての呼確立情報が受信されたとき、適切な「呼設定受付」、「呼出」、もしくは「応答」メッセージがインタフェースを通して転送されます。
- (5) (a)の場合で、示されたBチャンネルが利用不可であるか、もしくは(b)の場合で利用可能なBチャンネルがない場合、“理由表示(#44:要求回線/チャンネル利用不可)”あるいは、“理由表示(#34:利用可回線/チャンネルなし)”を含んだ「解放完了」メッセージがそれぞれ呼の生起側に返されます。その時、このメッセージの送信側は‘空’状態のままです。

- (6) もし「呼設定受付」もしくは「呼設定確認」メッセージに示されたチャンネルが呼の生起側で受け入れられなければ、5.3節に従って呼を切断復旧します。

1.2 呼の確認

「呼設定」メッセージの受信によって、装置は‘着呼’状態に遷移します。

「呼設定」メッセージへの正しい応答は、「呼設定確認」、「呼出」、「呼設定受付」、「応答」又は「解放完了」メッセージです。

もし、通知されたチャンネルが呼の生起側で受け入れられれば、生起側は表示されたBチャンネルを接続します。

1.3 ユーザが提供するトーン／アナウンスを使用した着信ユーザによる切断復旧

5.3.3節に記述されている手順に加え、伝達能力がオーディオ又は音声の場合、着信ユーザ又は私設網は、切断復旧時に、インバンドトーン／アナウンスを用いるかもしれません。インバンドトーン／アナウンスが提供される場合、「切断」メッセージは、経過内容#8“インバンド信号ないし適当なパターンが利用可能”を含み、着信ユーザ又は私設網は、網に関して5.3.4.1節で規定している処理を行います。

1.4 通信中表示

「応答」メッセージの受信によって、呼の生起側は「応答確認」メッセージで応答し、‘通信中’状態に遷移します。

2. 呼設定に関するタイマ

ユーザエンドポイントは網側のタイマT301、T303及びT310を供給し、それらのタイマ満了に伴う動作も網側と一致させます。8章に発ユーザ側のタイマと手順を示します。

3. 呼の衝突

対称な配置において、両方から同じチャンネルを通知した「呼設定」メッセージを同時に送出した時、呼の衝突が生じます。インタフェースの各側へのチャンネル割当てに関する管理手順がない場合、以下の手順が適用されます。

はじめにインタフェースの一方を“網”と指定し、他方を“ユーザ”と指定します。

次にユーザ側と網側からのチャンネル変更指定の組合せにより同一チャンネルが通知された場合における3種類の可能なシナリオについて以下の手順が利用されます。

- (1) “網”変更可、“ユーザ”変更可

“網”の変更可能なチャンネルが与えられ、“ユーザ”の「呼設定」メッセージに対する最初の応答によって、変更チャンネルが通知されます。

- (2) “網”変更不可、“ユーザ”変更不可

“網”の変更不可能なチャンネルが与えられ、ユーザの「呼設定」メッセージは“理由表示(#34: 利用可回線／チャンネルなし)”を含んだ「解放完了」メッセージにより切断復旧されます。

- (3) “網”変更可、“ユーザ”変更不可又は“網”変更不可、“ユーザ”変更可

「呼設定」メッセージに変更不可を通知した側のインタフェースに対応したチャンネルが与えられ、「呼設定」メッセージで変更可の通知を行った側への最初の応答によって、変更チャンネルが通知されます。

「呼出」、「応答」、メッセージにおける、“チャンネル識別子”情報要素の両方向性が必要となります。